



西高新聞

NAGASAKI NISHI INFORMATION

第296号

令和6年2月29日 発行

編集責任者 初村 一郎

http://www.nagasaki-nishi.ed.jp

信頼され続ける学校 学びがいのある学校 居場所のある学校

校長室から

「卒業」

校長 初村 一郎

卒業の「卒」には「終わる、終える」という意味のほかに、「突然に」という意味があります。何だかんだ言っても、あっという間の高校3年間。「突然に」卒業式が訪れたような気分じゃないでしょうか。もっとあれをしておけばよかった、これをしておけばよかった、そんな困惑と後悔があるかもしれません。その思いはこれからの新生活の中に生かしてほしいと思います。

卒業後は、多くの人が一人暮らしを始め、開放感とホームシックを交互に味わいながら大人になっていきます。アルバイトや就職等、働いてお金を得ることの大変さと大切さを知り、親の苦勞を身に染みて感じるものです。

私も学生時代は、母親と二人暮らしということもあって、奨学金とアルバイトで生計を立てていました。教育学部でしたので家庭教師をするのはもちろんのことですが、思い出深きは4年間修業を積んだミスド！週1～2回、夜9時から朝8時まで、今考えると過酷なアルバイトだったと思いますが、若さ故なせる技。今やったら倒れます。1年目はセールス（販売）、2年目以降はベイカー（製造）として働きました。セールスでは、様々なお客さんと出会い、自分の価値観が変化していく様子を実感できました。ベイカーとしては、今はどうかわかりませんが、当時は完全ハンドメイドでしたので、修業に次ぐ修行。厨房で職人気質を味わいながら、フレンチクルーラーやオールドファッションなど汗水たらして作ったドーナツが販売される喜びときたら感無量でした。自分が作ったドーナツを食べてくださる人がいることに幸か不幸か感謝の気持ちでいっぱいでした。夏場はたまに生地をこねながら、本当に汗がポツリと…！もう時効です。

私にとっては盛りだくさんな社会勉強ができたとともに、一生の仲間ができました。今でも当時のミスド仲間とは、年に一度同窓会をしています。

こんなふうにと書くと、「あれ、大学の授業は？」と思われがちですが、できるだけ午後から授業がある日の前日にミスドを入れていました。言いわけがましいですが、こう見えても大学の卒業式は学部総代で夕方のニュースにドアップ。チェバ・メネラウス（数学者）を極めました。今は頭空っぽですが…。

人は、読書等で自分の見識を深めるか、人づきあいや経験を通して自分の見識を深めるか、静か動かのどちらか。どちらもこなせるに越したことはないのですが、私自身は動のタイプだったように思います。卒業して、それぞれ進む道は違っても、自分の本分以外にプラス1の活動で自分磨きをしながら、素敵な生活を送ってほしいと願います。

学年だより

第1学年

－ 2年生になる前に －

78回生の1年生としての歩みも、気づけば残すところ1ヶ月です。4月からはいよいよ2年生としての高校生活が始まります。この2年生の過ごし方こそ、自身の高校生活の充実度に直結する最も重要な時期であることを肝に銘じて欲しいと思います。

去る4月、私たちは少しずつコロナ禍から以前の生活を取り戻していきました。そのような最中この西高に入学した78回生には高いレベルに挑む緊張と不安を感じました。あの時の初心を今一度自分の中に感じ取ることができるか自問自答してください。今ではすっかり西高に慣れ、らしくなってきたなと頼もしく感じることもある反面、「慣れ」てしまったことによって自分を厳しく戒めることを失念しつつあるのではないかと危惧する場面もあります。いずれ入学してくる79回生は、2・3年生である上級生の振る舞いを、君たちの学習や部活動に取り組む姿勢を、掃除に取り組む態度や挨拶の様子を、じっと見つめています。かつてのみんながそうであったように。自分が最も正しいと思う西高生活を、自信を持って過ごしてもらいたいと思います。

3月は上級生目前の時期です。学習面での取りこぼしをカバーしつつ、西高をよく知る先輩として自律を目指す高校生的心構えを再確認する時期です。皆で充実した時間を過ごしましょう。

【第1学年主任 石橋 可巳】

第2学年

－ 3月は自分と向き合う －

学年末考査も終わり、最高学年ももう目の前です。時の経つ速さを実感しています。考査前の自学会では、多くの生徒が集中して学習に取り組んでいました。考査前の取り組む姿勢が普段の学習にも生かされることを期待しています。

3月は高校入試があり、その期間は自宅学習期間となります。自分のために使える時間、目標に向かって努力する時間ができます。その時間で、再度、自分会議をしてほしい。「何のために長崎西高へ入学してきたのか」「これから何をすべきなのか」。この3月を有意義な時間として大切に使えるように指導していきますので、ご家庭でも叱咤激励のほどよろしくお願いします。

さて、これまで私たちを引っ張ってくれた76回生がいよいよ卒業します。感謝の気持ちを持って先輩方を送り出しましょう。そして77回生は、最高学年として西高を任される立場になります。また、後輩にとって目標となるべき先輩になることが求められます。課題を一つ一つ克服し、夢に向かって全力で進んでいきましょう。

【第2学年主任 宗田 将平】

各種表彰

下記のとおり、卒業証書授与式の前日に表彰を行います。

長崎県教育委員会表彰（優良卒業児童生徒表彰）	日高 慶（4組）
長崎県高等学校文化連盟表彰「卒業生顕彰」	北尾 早来紗（美術部）（4組）
長崎県高等学校体育連盟表彰「卒業生顕彰」	神田 怜（カヌー部）（4組）



長距離走大会 1月25日(木)

伝統の「長距離走大会」がかきどまり総合運動公園周回コースで開催されました。コースに残った前日の雪を補助員の3年生や運動部活動部員が取り除き、予定より10分遅れの10時25分、校長先生の高らかな号砲で男子251名が一斉にスタートしました。続く女子249名と併せて総勢500名が健脚を競い合いました。それぞれの目標達成のため懸命に走りデッドヒートを繰り広げる姿は、見る者に感動を与えるものでした。レース終了後の達成感に満ちた笑顔の中に生徒たちの成長を感じる一日でした。

PTAの皆様にはレース後に差し入れをいただきました。ありがとうございました。
総合成績(1位～10位)の氏名を掲載します。

【男子】

1位 若松 颯 2位 杉山 正弥 3位 河原 歩夢 4位 尾畑 勇気 5位 田巻 幸大
6位 瀧口 維摩 7位 井上 幹太 8位 岳尾 和真 9位 安田 遥貴 10位 常吉 柳之介

【女子】

1位 田淵 絆愛 2位 田地 礼音 3位 松下 彩生 4位 中橋 真優 5位 田中 ひより
6位 峰 小春 7位 江藤 実南 8位 柴田 理央 9位 鹿谷 早織 10位 竹内 摩子

【保健体育科 大久保 耕造】

**PTAによるどら焼き配付 1月25日(木)**

校内長距離走大会にあわせて、PTAよりどら焼き2個とお茶の提供がありました。PTA役員の皆様と職員で準備をし、昼休みに全生徒に配られました。ハードな長距離走を終えた1、2年生にとっても、受験を控えて勉強に励んでいる3年生にとっても、よいエネルギー補給になったのではないのでしょうか。西高の焼き印が入った特製の、程よい甘さのどら焼きに、生徒たちもホッと一息つけたようです。PTAの皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます

【総務部主任 植木 正明】

**三月人形展示 2月2日(金)**

毎年恒例となっている三月人形が本校の正面玄関内に展示されています「雛人形」には、両親から“この世に生まれてきてくれてありがとう”という意味が込められており、生まれてきた子どもの健やかな成長を願うとともに、災いを払うだけでなく、家族の絆を再認識する、“お守り”としての役割があるようです。また、ヒナデカラが宿っているともされ、人々に生きる力と挑戦するための勇気を与えてくれるとも言われています。本校に飾られている立派な三月人形は、大きな可能性を秘めた西高生一人ひとりの大いなる成長を、穏やかに見守ってくれていることでしょう。

【教務部 山口 龍二】

**第2回学校評議員会 13日(火)**

学外の学校評議員4名の方々と校長以下11名の教職員が参加して開催されました。本校からは今年度の現況(学校評価アンケートの分析、進路指導に関する取組、スマートフォン校内持込等や次年度に向けた生徒心得改定に向けた動き、生徒たちの活躍、SSH研究実施内容など)を報告し、それらに対する意見交換を行いました。委員の方々からは、「研究発表するときの生徒の様子を聞かせて欲しい。」生徒心得の改定について「変更する不安と生徒を信頼する気持ちのバランスはどうか」「同窓生としては自律をきちんととらえ、そこに結実していく改定であってほしい。」「今の生徒たちや先生方の思いを今後の西高生に伝えていってほしい」等の貴重なご意見を頂きました。今後は頂いたご意見を教育活動に生かし、生徒一人ひとりが社会で通用する心根をもった生徒に育つように西高全体で取り組んでいきたいと思います。

【統括主任 副島 俊彦】

学校保健委員会 15日(木)

学校保健委員会を開催し、学校医の先生方から以下の御助言をいただきました。1点目には、受験時にコンタクトレンズのトラブルの可能性があるため、必ず受験会場にはメガネを持参すること、2点目は、感染症予防のために予防接種を受けたほうがよいこと、3点目は、歯の矯正をしている人はう歯になりやすいため昼食後に歯磨きをすること、また、スポーツドリンクはう歯の原因になるため薄めて飲んだほうがよいことなどです。

高校を卒業すると自分自身で健康管理をしていく必要があります。高校3年間で、健康に関する正しい知識を身につけましょう。

【養護教諭 田淵 明日香】

〈令和5年度〉第2回 学校諸費検討委員会 15日(木)

本校では、教育活動を行う上で必要な学校諸費について、保護者の皆様の負担軽減及び、適正で透明性のある執行を図るために、県教委の指導による学校諸費検討委員会を設置しています。

本会には、保護者代表の委員である三浦PTA会長様はじめ、1名の副会長様、1名のPTA監事様に出席をいただき、令和6年度の「学校徴収金」「学校指定物品」「補助教材」「進路指導費予算案等」及び令和7年度の「修学旅行計画」「海外研修旅行計画」について審議のうえ、ご承認をいただきました。

審議の内容等につきましては、5月のPTA総会等でご報告いたします。

【事務長 小林 英樹】

卒業証書授与式を迎えるにあたって 学年主任より

皆さんと初めて出会ったのは、3年前の入学予定者オリエンテーションで、お互い緊張した中で挨拶をしたのを覚えています。We-Start Camp では、3年後に「西高に来てよかった」と思えるように頑張ってもらいたいという話をしましたが、いかがだったでしょうか。あっという間に過ぎ去った3年間のように感じます。76回生と過ごした日々は、授業に行くことや行事で盛り上がるのが楽しく、何てことない毎日こそが何より素敵だと感じた3年間でした。卒業して会えなくなると思うと、とても寂しく感じます。4月末の遠足くらいまでは卒業した76回生のことを引きずっていると思います。

いよいよ卒業の時です。この3年間、学年主任として皆さんと関わったことをとても幸せに感じています。76回生と出会えたこれまでの全てに感謝です。卒業後はそれぞれの道で、それぞれの夢を叶え、幸せになってください。そうなることを心より願っています。そしてたまには西高生だったことを思い出し、西高の誇りを胸に、ただアリガトウじゃ伝えきれない泣き笑いと悲しみ喜びを共に分かち合い、生きて行きましょう。今まで本当にありがとうございました。

【保護者の皆様へ】

お子様のご卒業、誠におめでとうございます。入学式の日がつい先日の事のように思われますが、保護者の皆様におかれましては、様々な思い出を重ねてこられたことと思います。特にこの1年間は、5月の学年PTAでお話したとおり「すべては76回生のために」という気持ちで私たちも頑張ってきました。お子様の進路実現に向けて最後まで応援続けたいと思います。

私自身、76回生と過ごした日々は楽しく、とても思い出に残る充実した3年間となりました。これも、皆様の本校の教育活動に対するご理解とご協力のおかげです。心からお礼申し上げます。いつも温かく見守ってくださり、色々とお心遣いを頂き本当にありがとうございました。

【第3学年主任 4組副担任 月川 希】



76回生卒業おめでとう！ 学年団より

※ 「人間存在そのものが、所詮矛盾に満ちたものであるとすれば、人生の全体を合理主義的に計画しようとすることは本来不可能な企てである。」（竹内啓『社会科学における数と量』）

一見すると、非合理的な無駄の積み重ねが、かえって人生を豊かにするかもしれません。楽しんでいきましょう。

【1組担任 松尾 航希】

※ 卒業おめでとう。この3年間で得たものを大切に、これからも歩んでいってください。『俺ら みんな うたい続ける お前達と 共に闘うぜ』今後の活躍を楽しみにしています。【1組副担任 窪田 弘毅】

※ 卒業おめでとうございます。これから羽ばたく世界は、今知っている世界よりずっと広い世界です。物事は多面体。1つの面からだけではなく複数の視点から捉え、想像力を働かせ、よりよい人生を切りひらいてください。時には休むことも忘れずに。頑張れ！

【2組担任 長野 千穂】

※ 卒業おめでとうございます。これからが勝負です！自分の人生をしっかりと歩んでください。また会える日を楽しみにしています。「素直に、ひたむきに、真っ直ぐに」

【2組副担任 前田 敦広】

※ 卒業おめでとうございます。この学び舎で出会うべくして出会った人とのつながりを大切に、そして、自分の足でたくましく歩んでいってください。日誌に書いていたような楽しい日々が待っていますように。

【3組担任 瀬川 裕子】

76回生卒業おめでとう！ 学年団より

※ 卒業おめでとうございます。これからは自分で考え、選択していく機会が増えていきます。その判断が正しくできるように様々な知識と教養をさらに身につけてください。皆さんの活躍を期待しています。

【3組副担任 岩崎 正吾】

※ 前を向いて、物事に向かっていくその姿勢を身につけられた人が多いのではないのでしょうか。卒業後、進学先で、就職先で、様々な問題と向き合うこともあると思います。このクラスで自分が積み重ねてきたことを自信にして前向きに取り組んでください。

【4組担任 榎藤 好信】

※ 夢の実現に向けた努力の継続。最も難しいことは自分を乗り越えること。自分が成長するとこれから出会う人をより幸せにできます。よき人生を。

【4組副担任 大久保 耕造】

※ 卒業おめでとうございます。西高で過ごした3年間は、涙あり、笑いありの濃密な時間であり、これから先も色あせることのない大切な思い出となっていくことでしょう。ここでの出会いを大切に、そしてこれからの出会いも同じように大切にしながら、一步一步を大切に進んでいってください。皆さんの行く手に幸多きことをお祈りしています。

【5組担任 浦 史子】

※ 卒業おめでとうございます。これからも自分のことを大切に、関わる人も大切にしながら、楽しい人生を過ごしてください。

【5組副担任 福岡 圭三】

※ 卒業おめでとうございます。思い通りにいかないことに向き合えた時間こそ貴重な時間です。どんな道を歩んでも、自分らしさを忘れず、周りのために行動できる人になっていってください。これからの活躍を期待しています。

【6組担任 島崎 英範】

※ 写真に写ったシリウスの光跡は、この星が輝き続けていることの証拠でもあります。ちっぽけな人間がシリウスほどの光跡を残すことは難しいのかも知れませんが、それでも輝き続けることはできるはずです。皆さん一人ひとりの人生が幸多きものでありますように。

【6組副担任 野口 新一】

※ 卒業おめでとうございます。皆さんが生まれたころから西高にいた私としては、特別に嬉しい気分です。これから、どんな未来にするつもりですか？ いつか、聞かせてください。

【6組副担任 長嶋 哲也】

※ ご卒業、本当におめでとうございます。嬉しいこともつらいこともたくさんあった3年間だったと思います。本当によく頑張りました。今後の皆さんの人生が、素晴らしいものになることを祈っております。

【7組担任 久布白 健太郎】

※ 卒業おめでとう。ともに過ごした3年間は、長くもあり短くもあり、楽しくもあり大変でもあり、とにかくすべてがよい思い出だったということです。お元気で。

【7組副担任 田中 潤】

※ 何かを頑張っているとき、上手くいかずに自分の普通さを嘆くこともあります。そんな時に自分を奮い立たせることは大切ですね。「ところで平凡な俺よ、下を向いている暇はあるのか？」と言えるハイキューの田中君が非常にカッコいいです。

【8組担任 山中 千人志】

※ 諸君が39歳となる2045年は時代の大きな転換期、すなわちAI（人工知能）が人類全体の知能を超える「シンギュラリティ」に到達するであろうといわれている。シンギュラリティが到来すると、世界の労働者の80～90%は働かない、すなわち仕事がAIやロボットに代替される社会となる。意識や感情を備えたAIが一般化するこれからの時代のキーワードはSTEAMです。この言葉を初めて聞いたという人は、自分で調べなさい。専門分野に関する深い知識だけでなく、幅広い教養を身につけるためにも、大学では「一般教養」の授業にも真面目に出席しなさい。

【8組副担任 岩本 清】

